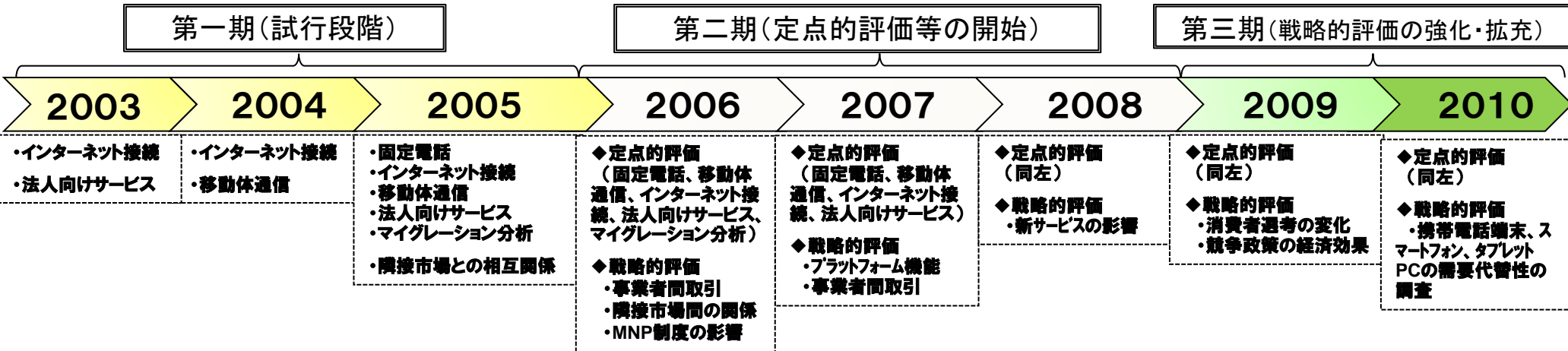


# 電気通信事業分野における競争状況の 評価に関する実施細目2012(案)について

# これまでの取組と2012年度の基本的な考え方

- 競争評価は、試行段階の第一期(03～05年度)、戦略的評価を定点的評価から分離させた第二期(06～08年度)を経て、戦略的評価の強化・拡充等を行った第三期(09年度～)に入っている。
- 2011年度では、無線のブロードバンド化等を踏まえ対象領域・市場を再構成。2012年度は、競争評価2011の枠組を原則として維持しつつ、LTE・BWAの急成長をはじめとした環境変化に対応した分析・評価を実施。



## 無線のブロードバンド化等を踏まえた対象領域・市場の再構成(2011年度～)

### 競争評価2011

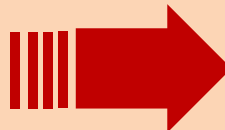
#### <背景>

- ・メタルから光へのマイグレーションの進展
- ・無線のブロードバンド化
- ・ビジネスモデルの多様化 等

#### <重点的分析・評価>

- ・移動系通信市場における上位・下位レイヤーの考察
- ・FTTH市場における幅広い要素の追加

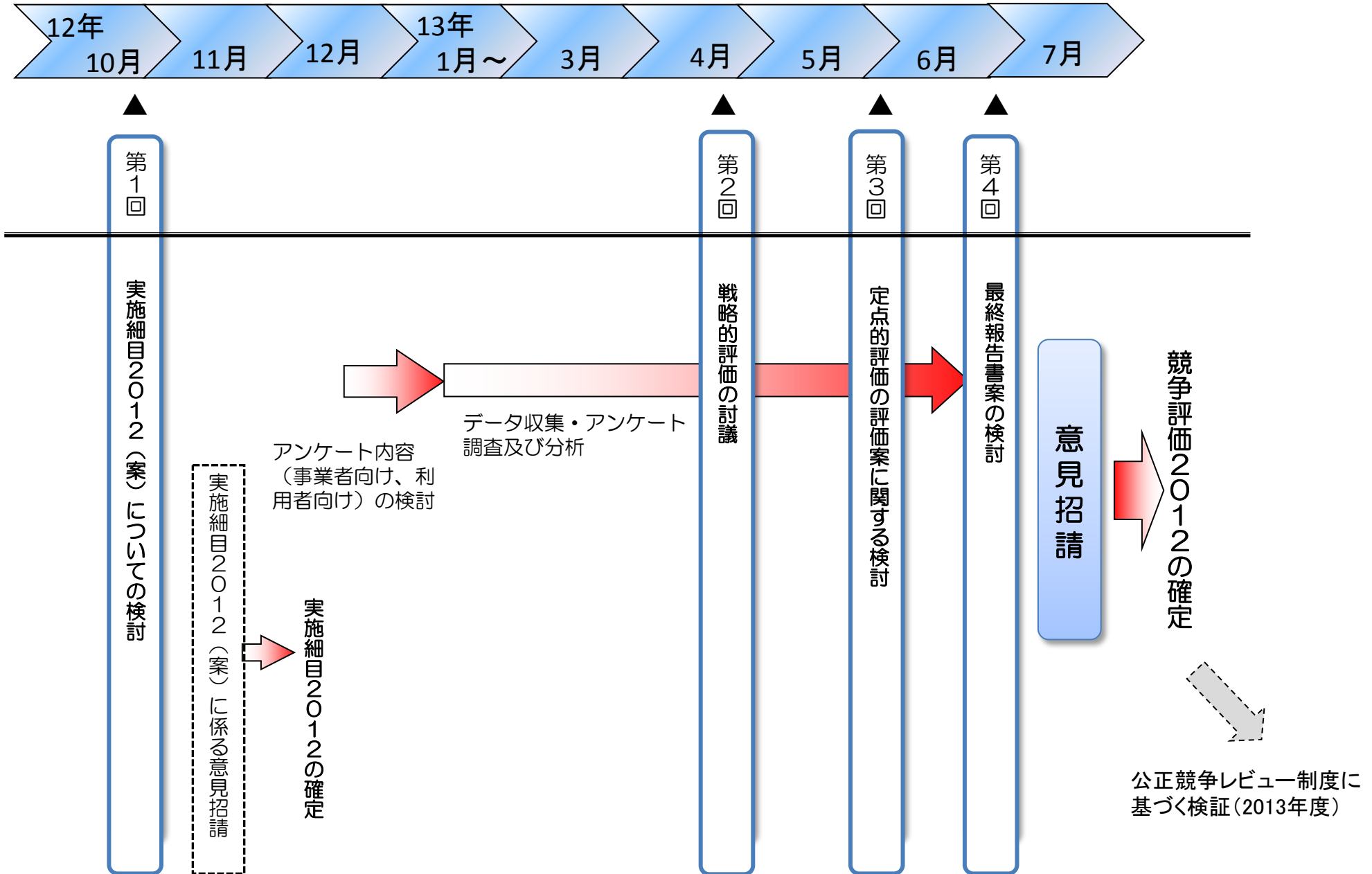
競争評価2011の  
枠組を原則維持



### 2012年度の競争評価

- LTEやBWAサービスの急成長  
⇒ 市場画定の部分見直し
- 電気通信サービスの多様化・複雑化  
⇒ 基本データの整理・拡充
- 移動系通信市場における再編・寡占化
- 固定系/無線系等の連携サービスの進展  
⇒ 戦略的評価の新テーマに採用

# スケジュール(案)



# 実施細目2012(案)のポイント

「電気通信事業分野における競争状況の評価に関する基本方針(本年2月改定)」に基づき、2012年度における「電気通信事業分野における競争状況の評価」(以下「競争評価」という。)の具体的な実施プロセス等の詳細を定める。

## 基本データの整理・拡充

(P 4～7 参照)

- ・ 競争評価2011中「勘案要素」とした指標をできる限り基本データとして継続的に分析  
(例：MVNOやデータ通信※専用端末の動向、設備競争の状況、事業者間取引の状況)  
※ 事業者アンケート等を通じ入手・分析したデータ通信の契約数等について、より正確なデータ把握に努める。
- ・ 需要側データの分析・評価を強化するため、従来の「料金」に加え以下の項目を追加  
①料金等、②サービス品質、③サービス変更コスト

## 戦略的評価の新テーマ採用

(P 7 参照)

- 移動系通信市場における新規参入事業者の事業環境
  - ・ 新規参入事業者 (MVNO事業者各社) の視点からの競争条件の分析
- 市場間の連携サービスの利用動向
  - ・ スマホ+FTTHをはじめとした連携サービスの普及動向と競争条件への影響
- 固定ブロードバンド・モバイルインターネットの上流サービス利用分析

## 市場画定の部分見直し

(P 8～9 参照)

- ・ 競争評価2011の枠組を原則として維持し、「移動系通信(音声通信・データ通信)」、「データ通信(固定系)」、「音声通信(固定系)」、「法人向けネットワークサービス」における各市場を画定
- ・ 市場構造の急速な変化に対応するため、「移動系超高速ブロードバンド」(LTE、BWA)をデータ通信(移動系)の部分市場として画定

# 基本データの整理・拡充(移動系通信)

2012年度の競争評価においては、

- ・「①MVNOの動向」と「⑤データ通信専用端末等の動向」を市場規模等に関する基本データの一部として継続して収集・分析
- ・「②SIMロック解除の動向」と「③番号ポータビリティの状況」は、利用者のサービス変更コストに係る基本データとして取り扱う。
- ・「⑥ネットワークレイヤーと上位下位レイヤーとの関係」は、引き続き評価に当たっての勘案要素として分析を実施
- ・「④移動系と固定系の連携サービス、VoIP、M2Mの動向」は、市場間関係の動きの一つとして戦略的評価の中で取り上げる。

	分析指標(2011)	分析指標(2012)
基本データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市場の規模、事業者別シェア</li> <li>② 市場集中度</li> <li>③ 料金</li> </ul>	[供給側データ] <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市場の規模、事業者別シェア</li> <li>② 市場集中度</li> </ul> [需要側データ] <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 料金等</li> <li>④ サービス品質 ※</li> <li>⑤ サービス変更コスト ※</li> </ul>
評価に当たっての勘案要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>① MVNOの動向</li> <li>② SIMロック解除の動向</li> <li>③ 番号ポータビリティの状況</li> <li>④ 移動系と固定系の連携サービス、VoIP、M2Mの動向</li> <li>⑤ データ通信専用端末等の動向</li> <li>⑥ ネットワークレイヤーと上位下位レイヤーとの関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上位下位レイヤーをレバレッジとしたネットワークレイヤーへの影響</li> <li>○ 市場間の連携サービスの利用動向(需要側)</li> </ul>
戦略的評価		

※ 新たに追加した指標

# 基本データの整理・拡充(データ通信(固定系))

2012年度の競争評価においては、

- ・「①設備競争の状況」と「②事業者間取引の状況」について、公正競争レビュー制度との連携のための基本データにも当たることから、継続して収集・分析を行う。
- ・「③固定系と移動系の連携サービスの動向」、「④ISPとのセット販売」及び「⑤事業者グループの状況」については、市場間の連携サービスの動きの一つとして戦略的評価の中で取り上げる。

	分析指標(2011)	分析指標(2012)
基本データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市場の規模</li> <li>② 事業者別シェア及び市場集中度</li> <li>③ 料金</li> </ul>	<p>[供給側データ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市場の規模、事業者別シェア</li> <li>② 市場集中度</li> <li>③ 設備競争の状況</li> <li>④ 事業者間取引の状況</li> </ul> <p>[需要側データ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 料金等</li> <li>⑥ サービス品質 ※</li> <li>⑦ サービス変更コスト ※</li> </ul>
評価に当たっての勘案要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 設備競争の状況</li> <li>② 事業者間取引の状況</li> <li>③ 固定系と移動系の連携サービスの動向</li> <li>④ ISPとのセット販売</li> <li>⑤ 事業者グループの状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ NTT東西加入電話によるFTTH市場へのレバレッジの懸念関係 (2011年度においては、音声通信(固定系)で分析)</li> <li>○ FTTH市場における参入が進んでいないエリアの状況 ※</li> </ul>
戦略的評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市場間の連携サービスの利用動向(需要側)</li> </ul>

※ 新たに追加した指標

# 基本データの整理・拡充(音声通信(固定))

2012年度の競争評価においては、

- ・「①固定電話の利用状況」について、サービス料金と並んで利用者の動向を把握する上で不可欠な情報であることから、基本データの一部として収集を継続し、分析を行う。
- ・「②NTT東西加入電話による固定系ブロードバンド市場へのレバレッジの懸念関係」についてはデータ通信(固定系)の評価に当たっての勘案要素として取り上げる。
- ・「③ソフトフォンの動向」については市場間関係の動きの一つとして戦略的評価の中で取り上げる。

	分析指標(2011)	分析指標(2012)
基本データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市場の規模</li> <li>② 事業者別シェア及び市場集中度</li> <li>③ 料金等</li> </ul>	[供給側データ] <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市場の規模、事業者別シェア</li> <li>② 市場集中度</li> <li>③ 接続料</li> </ul> [需要側データ] <ul style="list-style-type: none"> <li>④ 料金等</li> </ul>
評価に当たっての勘案要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 固定電話の利用状況</li> <li>② NTT東西加入電話による固定系ブロードバンド市場へのレバレッジの懸念関係</li> <li>③ ソフトフォンの動向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市場間の連携サービスの利用動向(需要側)</li> </ul>
戦略的評価		

2012年度においては、データ通信(固定系)で分析

# 2012年度の競争評価における分析指標

## <定点的評価>

領域	データ通信			音声通信		法人向けネットワークサービス	
	固定系	ISP (固定系)	移動系	移動系	固定系		
市場	固定系ブロードバンド	ISP (固定系)	移動系通信 (データ通信)	移動系通信 (音声通信)	固定電話	050-IP電話	WANサービス
	FTTH		移動系超高速 ブロードバンド				
分析指標							
基本データ	[供給側データ] ・市場の規模、事業者別シェア ・市場集中度 ・設備競争の状況 ・事業者間取引の状況	[供給側データ] ・市場の規模、事業者別シェア ・市場集中度	[供給側データ] ・市場の規模、事業者別シェア (MVNO、データ通信専用端末等(通信モジュールを含む。))を含む。) ・市場集中度	[供給側データ] ・市場の規模、事業者別シェア ・市場集中度	[供給側データ] ・市場の規模、事業者別シェア ・市場集中度	[供給側データ] ・市場の規模、事業者別シェア ・市場集中度	
	[需要側データ] ・料金等 ・サービス品質※1 ・サービス変更コスト※2	[需要側データ] ・料金等	[需要側データ] ・料金等 (ARPUを含む。) ・サービス品質※1 ・サービス変更コスト※2 (SIMロック解除、番号ポータビリティ、端末コスト等を含む。)	[需要側データ] ・料金等 (接続料含む)	[需要側データ] ・料金等	[需要側データ] ・料金等	
評価に当たっての勘案要素	・NTT東西加入電話によるFTTH市場へのレバレッジの懸念関係 ・FTTH市場における参入が進んでいないエリアの状況		・上位下位レイヤーをレバレッジとしたネットワークレイヤーへの影響			・クラウドサービスの影響	

※1 通信速度、利用者満足度を含む。

※2 解約手数料ほか、メールアドレスや電話番号を維持するための費用を含む。

## <戦略的評価>

テーマ	① 移動系通信市場における新規参入事業者の事業環境 (供給側)	② 市場間の連携サービスの利用動向 (需要側)	③ 固定ブロードバンド・モバイルインターネットの上流サービス利用分析
分析指標等	<ul style="list-style-type: none"> <li>MVNO事業者の参入・退出の状況</li> <li>MVNO事業者の事業内容のパターン分類</li> <li>MVNO事業者から見た競争条件</li> <li>海外における新規参入事業者の参入状況等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場間の連携サービスの利用動向</li> <li>FTTH市場における市場支配力の固定電話やISPに与える影響</li> <li>スマートフォンを中心とした連携サービスの状況</li> <li>事業者グループの状況</li> </ul>	<p>昨年度に引き続き、「固定ブロードバンド・モバイルインターネットの上流サービス利用分析」を取り上げる。</p>

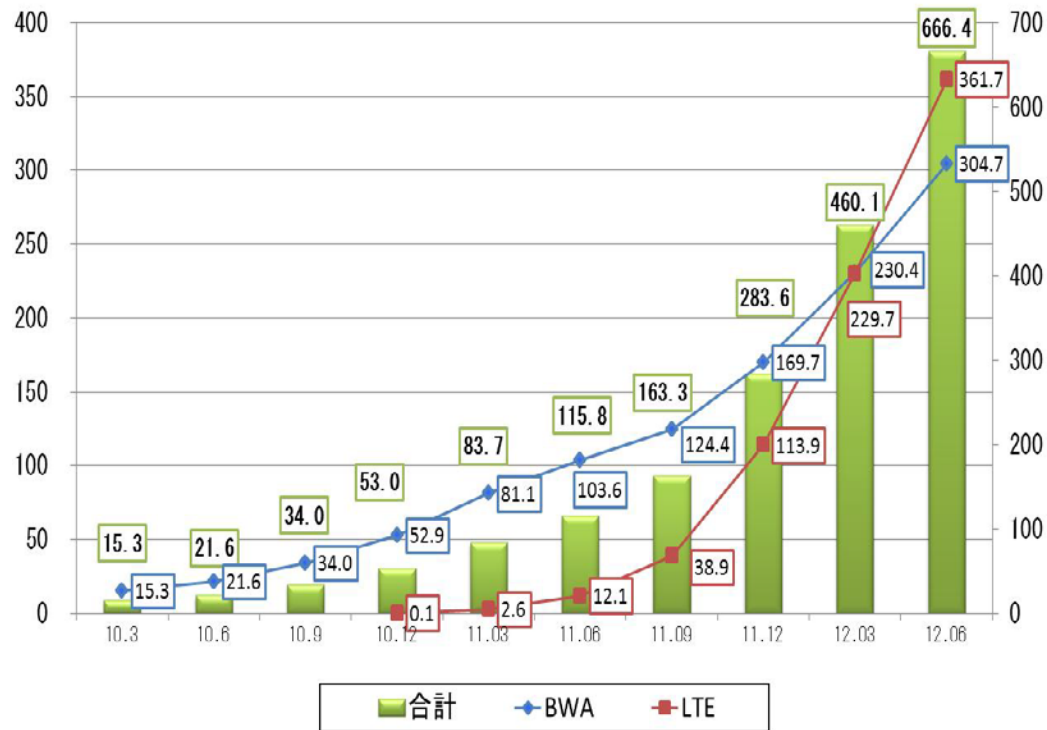


# 市場画定の部分見直し(移動系超高速ブロードバンド市場の急成長)

- ・ 本年6月時点におけるLTEとBWAの契約数の合計は666.4万で、ADSLやCATVインターネットの契約数を超えており大きな伸びを示している。特にLTEは大手2社が本年9月にサービスを開始するなど、今後更なる成長の見込み。
- ・ そこで、LTEとBWAについては、移動系超高速ブロードバンド市場として一体的に捉え、移動系通信(データ通信)市場の部分市場として画定する。

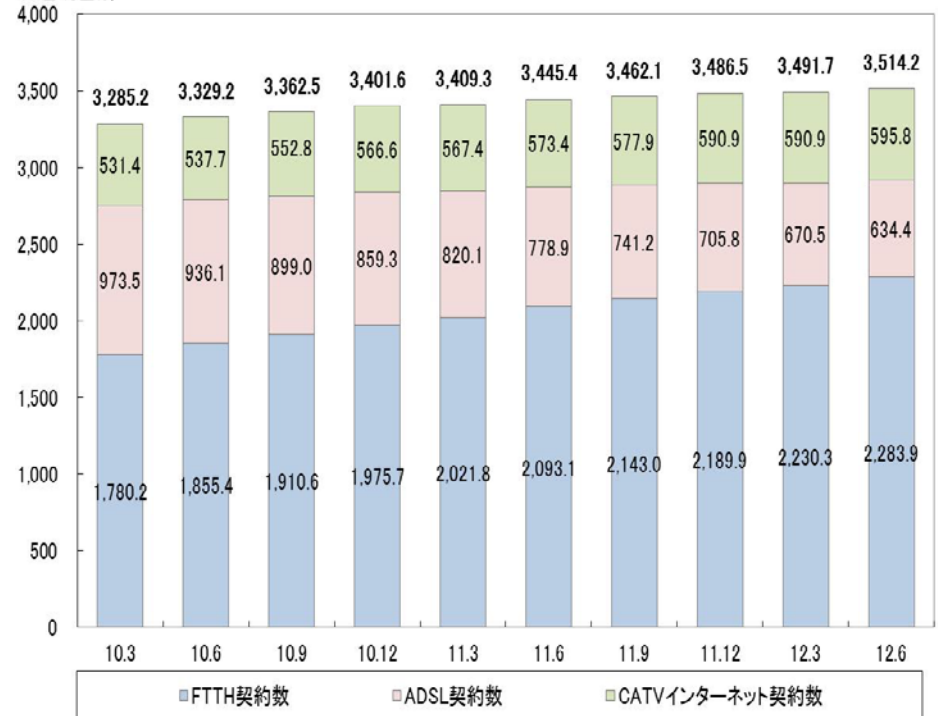
【LTE及びBWAの契約数の推移】

単位:万契約



【参考:固定系ブロードバンド市場における契約数の推移】

(単位:万回線)



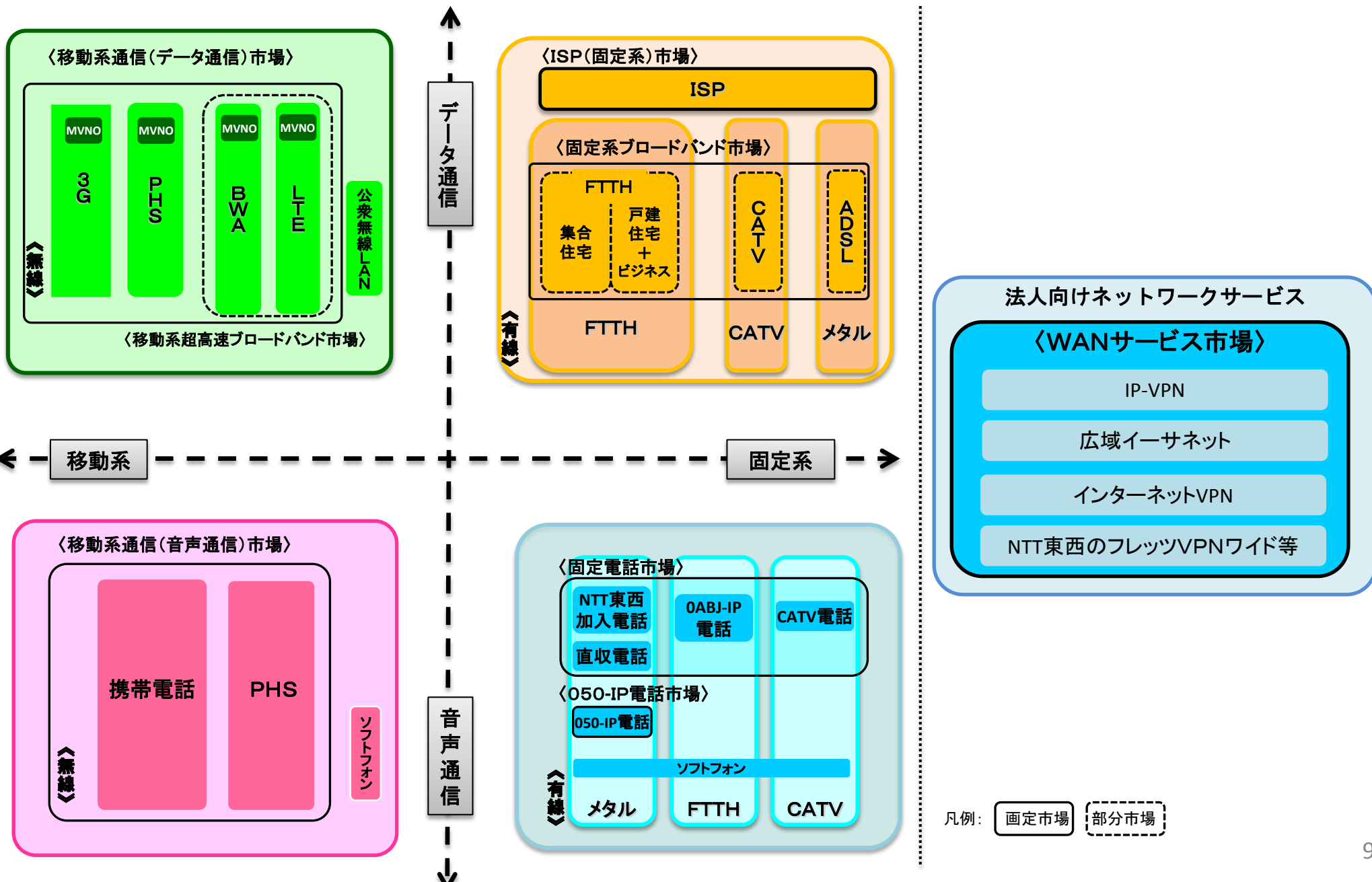
※ 電気通信事業者協会(TCA)の発表によれば、最新の契約数は次のとおり。

<http://www.tca.or.jp/database/2012/09/>

・BWAの契約数のうち、UQコミュニケーションズとWireless City Planningの合計値  
303.8万契約(12.06時点)⇒400.3万契約(12.09時点)

・LTEの契約数のうち、NTTドコモの契約数  
331.7万契約(12.06時点)⇒619.8万契約(12.09時点)

# 市場画定の部分見直し(全体像)



凡例: 画定市場 部分市場